

銀行名	伊予銀行
タイトル	環境問題への取組み
取組み内容	環境問題に取り組む団体等を支援する仕組みを構築するとともに、当行自身も「森づくり」にフォーカスしつつ、各種の環境問題対策に取り組んでいる。 ● 創業 130 周年(平成 20 年)を記念して設定した「公益信託 伊予銀行環境基金『エバーグリーン』」により、環境問題に取り組んでいる団体等に助成金を贈呈した。26 年度の実績は、11 先に対して 4,050 千円を助成した。(これまでの累計は 92 先に対して 32,974 千円) ● 愛媛県の「企業の森」制度に則って地公体等と連携し、愛媛県内 4 か所に「伊予銀行エバーグリーンの森」を設け、植樹や下草刈り等の森林保全活動に取り組んでいる。26 年度の実績は、3 回活動し 130 名の行員がボランティア活動を行った。 ● 当行に事務局を設置し、愛媛県・松山市・地元企業に呼びかけ、平成 22 年に「『森のあるまちづくり』をすすめる会」が発足した。本会では、会員企業が社有地等に植樹し、ふるさと愛媛を緑豊かな地域にしていく活動を行っている。26 年度の実績は、4 回で 369 名が参加し、2,700 本の植樹を行った。(これまでの植樹累計本数は 44,000 本超)

番町記者クラブ各位

平成27年2月6日

No. 15-024

株式会社 伊予銀行

「エバーグリーンの森」づくり活動実施のお知らせ

～豊かな森林を次の世代に残すために～

株式会社伊予銀行（頭取 大塚 岩男）は、大洲市阿蔵において「エバーグリーンの森」づくり活動を実施いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

この活動は、愛媛県の「企業の森」制度に則して、平成20年に愛媛県、大洲市、（財）愛媛の森林（もり）基金と「森林（もり）づくり活動協定」を締結したもので、平成25年3月には新たに2箇所の活動場所を加え、愛媛県内4箇所の森林において活動しております。

今回の活動場所となる「伊予銀行エバーグリーンの森」大洲は、大洲市の中心市街地近くに位置しており、このすばらしい森林を子どもたちに引き継ぐため、愛媛県および大洲市と協力し、植樹活動や椎茸の植菌体験を実施いたします。なお、「伊予銀行エバーグリーンの森」大洲の活動は、今回で6回目となります。

なお、愛媛県から、昨年度の「エバーグリーンの森」づくり活動全体で吸収したCO₂換算量は5.4トンと認証していただきました。

記

○「エバーグリーンの森」づくり活動

項 目	内 容
日 時	平成27年2月14日（土） 9：30～ 開会式 10：00～ 植樹活動 11：00～ 椎茸植菌 11：30 解散
開催場所	「伊予銀行エバーグリーンの森」大洲（大洲市阿蔵・高山） ※詳細は別紙地図をご参照ください。
活動内容	・植樹（200本程度） ・椎茸の植菌体験
参加人数	当行行員のボランティア約60名
そ の 他	少雨決行

以上

本件に関するご照会は下記までお願いいたします。
広報CSR室（担当：藤田） TEL 089-941-1141（内線：2251）

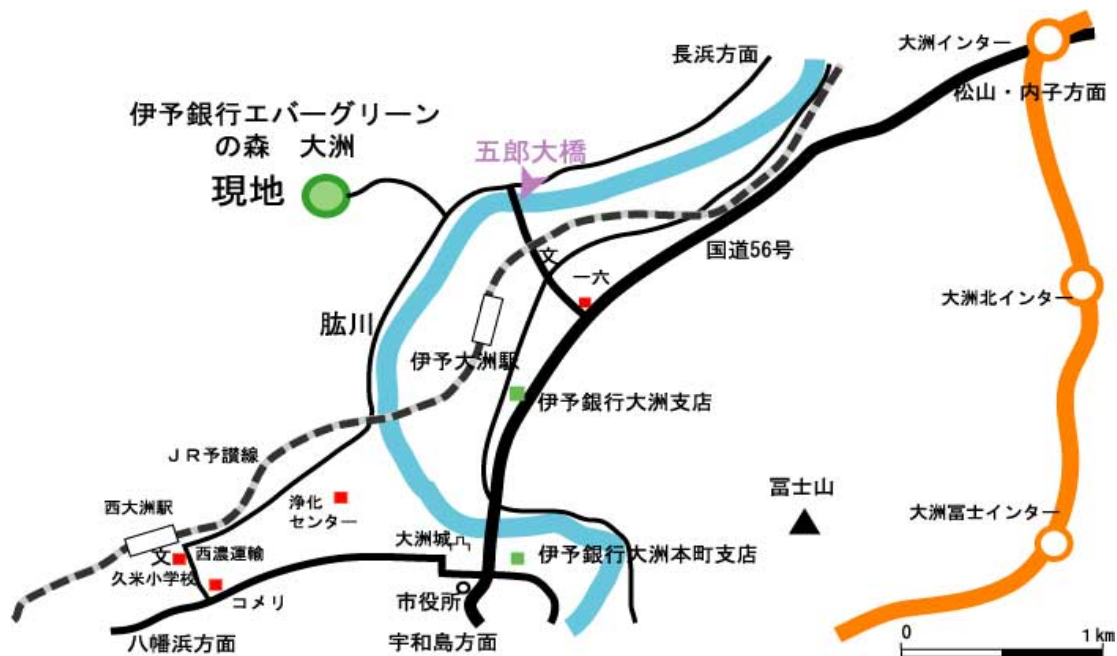
○「伊予銀行エバーグリーンの森」大洲

所在地	大洲市阿蔵・高山
面積	7.62ヘクタール
森林所有者	大洲市
森林の概要	「伊予銀行エバーグリーンの森」大洲は、大洲市中心市街地と肱川をはさんで位置していますが、松枯れ被害の拡大により森が荒廃していました。この自然環境・生活環境と一体となった森は、未来に引き継ぐ大切な里山であり、市民等が自然環境に親しむ場としていくためにも、植栽による再生が必要な場所です。
活動内容	定期的に当行行員が中心となって、森林と親しむ環境整備を図ります。具体的には、これまで実施した広葉樹を中心とした植栽部分について、環境保全のために下草刈りを行います。

○「エバーグリーンの森」づくりにおける取組み

- ・当行役職員等による森林づくり活動（ボランティア）
- ・協定森林における森林づくり活動等に対する寄付（毎年度1百万円、計5回）
- ・活動内容の情報発信

○所在地図



感謝の心をこめて

Challenge & Smile



番町記者クラブ各位

平成27年3月3日

No. 15-037

株式会社 伊予銀行

「エバーグリーンの森」づくり活動実施のお知らせ ～豊かな森林を次の世代に残すために～

株式会社伊予銀行（頭取 大塚 岩男）は、東温市で「エバーグリーンの森」づくり活動を実施いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

この活動は、愛媛県の「企業の森」制度に則して、平成20年に愛媛県、大洲市、（財）愛媛の森林（もり）基金と「森林（もり）づくり活動協定」を締結したもので、平成25年3月には新たに2箇所の活動場所を加え、愛媛県内4箇所の森林において活動しております。

今回で6回目の活動となる「伊予銀行エバーグリーンの森」東温は、松山平野を潤している重信川支流の一つ、本谷川の上流域に位置し、水源の保全に重要な役割を担っており、子どもたちに残す貴重な財産として、愛媛県のご協力のもと植樹活動や椎茸の植菌活動を実施いたします。

なお、愛媛県から、昨年度の「エバーグリーンの森」づくり活動全体で吸収したCO₂換算量は5.4トンと認証していただきました。

記

○「エバーグリーンの森」づくり活動

項 目	内 容
日 時	平成27年3月7日（土） 9：30～ 開会式、記念撮影 9：45～ 植樹活動 11：00～ 椎茸植菌 11：30 解散
開催場所	「伊予銀行エバーグリーンの森」東温（東温市松瀬川） ※詳細は別紙地図をご参照ください。
活動内容	・植樹（ヒノキ200本程度） ・椎茸の植菌体験
参加人数	当行行員のボランティア約40名
そ の 他	少雨決行

以 上

本件に関するご照会は下記までお願いいたします。
広報CSR室（担当：藤田） TEL 089-941-1141（内線：2251）

私たちはチャレンジします。みなさまの笑顔のために。

NEWS RELEASE

株式会社 伊予銀行 愛媛県松山市南堀端町1番地 〒790-8514 TEL(089) 941-1141

○伊予銀行エバーグリーンの森 東温

所在地	東温市松瀬川
面積	25.83ヘクタール
森林所有者	愛媛県
森林の概要	「伊予銀行エバーグリーンの森」東温は、松山平野を潤している重信川支流の一つ、本谷川の上流域に位置し、水源保全に重要な役割を担っています。40年生以上のスギ、ヒノキが深い森を形成していますが、伐採期に差ししかかっており、更新のためにも計画的な間伐と新たな植栽が必要とされています。
活動内容	水源地域に位置していることから、木々の生長を促し水源涵養力の維持向上を図るため、定期的に当行行員が中心となって、森林内の下草刈りを行います。また、樹木の生育を促すため、雪害に遭った樹木の伐倒作業を行います。

○「エバーグリーンの森」づくりにおける取組み

- ・当行役職員等による森林づくり活動（ボランティア）
- ・協定森林における森林づくり活動等に対する寄付（毎年度1百万円）
- ・活動内容の情報発信

○所在地図



平成27年3月31日

No. 15-070

株式会社 伊予銀行

番町記者クラブ各位

公益信託 伊予銀行環境基金「エバーグリーン」の助成対象先を募集します

～ふるさとの豊かな自然を次世代に残すために～

株式会社 伊予銀行（頭取 大塚 岩男）は、公益信託 伊予銀行環境基金「エバーグリーン」の平成27年度助成対象先を募集しますので、下記のとおりお知らせいたします。

同基金は、環境保護活動に積極的に取り組まれている皆さまのお役に立ちたいとの思いから、平成20年3月に創業130周年を記念して創設したものです。創設から現在までの間に、92先の団体の皆さまに合計3,297万円を助成しています。

記

○募集概要

項 目	内 容
助 成 対 象 者	愛媛県内に主たる活動拠点がある、公益法人、特定非営利活動法人、学校、任意団体（法人格の有無は問わない）等、若しくは個人
助 成 対 象 事 業	自然環境保護活動等
募 集 期 間	平成27年4月1日（水）～平成27年8月31日（月）
助 成 金 額	原則として1件50万円以内
選 考 通 知	平成27年10月頃開催予定の運営委員会にて決定後書面にて通知
応 募 方 法	所定の「申請書」にご記入いただきご応募ください。
申請書取得方法	以下、①～③のいずれかの方法で取得ください。 ①当行本支店窓口で受領 ②当行ホームページからダウンロード ③三井住友信託銀行ホームページからダウンロード
申請書提出方法	以下、①、②のいずれかの方法でご提出ください。 ①伊予銀行本支店窓口へのご提出 ②三井住友信託銀行リテール受託業務部へのご郵送

※詳細は、別添の募集要項をご参照ください。

以 上

本件についてのご照会は下記までお願いいたします。
広報CSR室（担当：藤田） TEL089-941-1141 （内線：2251）

私たちはチャレンジします。みなさまの笑顔のために。

NEWS RELEASE

株式会社 伊予銀行 愛媛県松山市南堀端町1番地 〒790-8514 TEL(089) 941-1141

公益信託 伊予銀行環境基金『エバーグリーン』申込受付のお知らせ

この公益信託は、伊予銀行の発展を支えていただいた地域社会に貢献するため、美しい自然景観に恵まれた愛媛県内の自然を次代に引継ぎ、豊かで快適な地域環境を創造する活動を支援し、もって自然環境及び生物多様性の保全に寄与することを目的として発足したものです。

このたび、平成27年度の助成申し込みの受付を下記募集要項により行うことにいたしましたので、文系・理系を問わず広く応募ください。

【募集要項】

1. 助成対象

(1) 助成対象者

愛媛県内に主たる活動拠点がある、公益法人、特定非営利活動法人、学校、任意団体(法人格の有無は問わない)等、若しくは個人。

(2) 助成対象事業

- ①森林、海岸、河川、緑地、池沼、植物自生地、動物生息地等自然のままで保存すべき地域における植林、景観の復旧、動植物の保護等
- ②上記①の地域の環境の汚染又は破壊の防止につながるゴミ、廃棄物投棄の防止又はこれらの除去、又は清掃等
- ③すぐれた自然環境のなかで行われる自然観察会等
- ④生物多様性保全への理解促進のための広報及び自然保護の実践に資する調査・研究
- ⑤生物多様性保全への理解促進のための絵本、資料、視聴覚教材等の作成、配布
- ⑥生物多様性保全への理解促進のための展覧会、シンポジウム、研修会、交流会等の開催又はこれらへの参加
- ⑦上記以外の自然環境及び生物多様性の保全や災害防止、再生可能エネルギーの普及に寄与する新しいテーマによる活動

(3) 助成対象期間

平成27年4月1日～平成28年8月31日の間に実施する事業に使用した金額への助成。

2. 助成金額

原則として1件50万円以内とする。

3. 募集期間

平成27年4月1日～平成27年8月31日（当日消印有効）

4. 応募方法

当基金所定の申請書に必要事項を記入し、後記宛先へご郵送ください。申請書類は、伊予銀行の本・支店にご提出いただいても結構です。申請書は後記照会先記載のURLからダウンロードしてください（お電話でのご請求も承ります）。

なお、応募書類は返却いたしませんのでご了承ください。

5. 選考及び通知

平成27年10月頃開催予定の当基金運営委員会において選考決定の上、その結果を書面にてお知らせします。

なお、選考漏れの場合、その根拠・理由等のお問い合わせにつきましてはお答えできませんのでご了承ください。

6. その他

(1) 活動成果及び助成金の使用結果について使用報告書及び成果報告書をご提出いただきます。

(2) 偽りその他不正な手続により助成金の交付を受けたり、又目的以外に費消したときは、授与した助成金は返還して頂きます。

7. 申請書の資料請求先・提出先

〒790-8514 松山市南堀端町1番地

伊予銀行 広報CSR室

公益信託 伊予銀行環境基金『エバーグリーン』担当

TEL 089-941-1141(受付：平日9時～17時) FAX 089-946-9104

若しくは

〒105-8574 東京都港区芝3-33-1

三井住友信託銀行 リテール受託業務部 公益信託グループ

公益信託 伊予銀行環境基金『エバーグリーン』申請口

TEL 03-5232-8910(受付：平日9時～17時) FAX 03-5232-8919

申請書掲載URL <http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.htm>

銀行名	伊予銀行
タイトル	金融経済教育への取り組み
取り組み内容	愛媛県の将来を担う学生に、「銀行業務の仕組み」や「健全な金銭感覚」等を学んでもらうことを目的に金融経済教育に取り組んでいる。 ● 小学生を対象に、春休みや夏休み期間等を利用して「キッズセミナー」を開催し、ゲーム等を交えながら楽しく銀行業務への理解浸透に貢献した。 26年度の開催内容は、合計で19回、参加生徒数は626名である。 (これまでの累計は65回、参加生徒数は2,134名) ● 高校生を対象に、金融知力普及協会と連携して「エコノミクス甲子園 愛媛大会」を開催し、金融リテラシーの向上に貢献した。 26年度の開催内容は、愛媛県の高校10校から29チーム58名が参加した。 (これまで7回開催、207チーム412名が参加) ● 小学生から大学生まで幅広い年代層を対象に、職場見学会、職場体験学習・インターンシップ、講師派遣・出前授業を行い、銀行業務への理解浸透に貢献した。 なお、26年度の開催内容は以下のとおりで、合計で36回、756名が参加した。 - 小学生の職場見学会(まちたんけん): 5回、60名が参加 - 小学生への講師派遣・出前授業: 1回、40名が参加 - 中学生の職場体験学習・インターンシップ: 12回、93名が参加 - 中学生への講師派遣・出前授業: 2回、32名が参加 - 高校生の職場体験学習・インターンシップ: 11回、212名が参加 - 高校生への講師派遣・出前授業: 3回、287名が参加 - 専門学校生への職場見学会: 1回、22名が参加 - 大学生の職場体験学習: 1回、10名が参加

感謝の心をこめて

Challenge & Smile



番町記者クラブ各位

平成27年1月5日

No. 15-002

株式会社 伊予銀行

金融教育講座「レシート探偵 経済を追え！」に講師を派遣します！

～愛媛県×えひめ地域政策研究センター×いよココロザシ大学×当行 協働企画～

株式会社 伊予銀行（頭取 大塚 岩男）は、金融教育講座「レシート探偵 経済を追え！」に講師を派遣いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

この講座は、愛媛県が推進するNPO法人・企業・団体等の協働事業の一環として開催されるもので、身近なレシートの分析、クイズやゲームなどを通じて、経済について分かりやすくご説明いたします。

記

○「レシート探偵 経済を追え！」

項 目	内 容
日 時	平成27年1月6日（火） 9：30～12：30
会 場	当行南別館 ローンプラザ松山支店2Fセミナールーム
対 象	小学校5年生以上
定 員	20名
参加費	無料
内 容	日頃何気なく見ているレシートを使って身近な経済を読み解き、金融教育ゲームによりお金のやり取りを体験することで、自分自身と経済とのつながりを感じる。
主 催	公益財団法人えひめ地域政策研究センター、NPO法人いよココロザシ大学
協 力	愛媛県、NPO法人えひめリソースセンター、 NPO法人ライフサポートアゴラ、シェアライフデザイン、当行

○金融教育への取組みについて

当行では、オリジナル教材を活用して、小・中・高校生、大学生、社会人向けに幅広い金融教育活動を行っております。学校の教室、体育館やその他施設への講師派遣も行っておりますのでお気軽にご相談ください。

以 上

本件に関するご照会は下記までお願いします。

広報CSR室（担当：日野） TEL089-941-1141 （内線：2257）

私たちはチャレンジします。みなさまの笑顔のために。

NEWS RELEASE

株式会社 伊予銀行 愛媛県松山市南堀端町1番地 〒790-8514 TEL(089) 941-1141

感謝の心をこめて

Challenge & Smile



番町記者クラブ各位

平成27年3月6日

No.15-040

株式会社 伊予銀行

いよぎん金融教育教室「春のキッズセミナー」を開催します！

～坊っちゃん劇場様と共同開催！役者さんと協力して特別プログラムを実施～

株式会社 伊予銀行（頭取 大塚 岩男）は、春休み期間に愛媛県内3つの会場でいよぎん金融教育教室「春のキッズセミナー」を開催いたしますので、下記のとおりお知らせします。

キッズセミナーは、将来を担う小学生の皆さんに銀行の仕組みや健全な金銭感覚などを学んでいただくことを目的に、平成19年から開催しております。今回は特別講師として坊っちゃん劇場の役者さんをお迎えし、体験型のワークショップも取り入れながら、楽しく学んでいただけるプログラムを予定しております。

記

○開催概要

項 目	内 容		
開 催 日	4月2日（木）	4月3日（金）	4月4日（土）
場 所	伊予銀行宇和島支店	伊予銀行今治支店	伊予銀行本店
時 間	各会場 9：30～12：30		
主な プログラム	・名刺を使って自己紹介しよう ・会社について学ぼう ・愛媛の特色を生かした会社をつくって発表しよう		
対 象 者	小学校 新5、6年生（保護者の方も見学いただけます）		
人 数	各会場 先着30名		
参 加 費	無 料		
申込方法	伊予銀行ホームページ「いよぎん金融教育教室」にある申込みフォームから必要事項を入力してお申し込みください いよぎん金融教育教室 検索 ＜締切日 3月25日（水）＞ ※定員に達し次第、締め切らせていただきます		

○金融経済教育への取り組み

当行では、キッズセミナーの他、当行オリジナル教材を活用し、小・中・高校生、大学生、社会人向けに幅広い金融経済教育活動を行っております。学校の教室、体育館やその他施設への講師派遣も行っておりますのでお気軽にご相談ください。

以 上

本件についてのお問合せは下記までお願いします。

広報CSR室（担当：日野、宮内）TEL089-941-1141（内線：2257、2233）

私たちはチャレンジします。みなさまの笑顔のために。

NEWS RELEASE

株式会社 伊予銀行 愛媛県松山市南堀端町1番地 〒790-8514 TEL(089) 941-1141

伊予銀行・坊っちゃん劇場 共同開催
いよぎん金融教育教室「春のキッズセミナー」
～愛媛発！起業にチャレンジ～

開催地区	宇和島会場	今治会場	松山会場
日程	4/2（木）	4/3（金）	4/4（土）
会場	伊予銀行 宇和島支店 宇和島市新町2丁目8-3	伊予銀行 今治支店 今治市常盤町4丁目2-1	伊予銀行 本店 松山市南堀端町1番地
時間	9：30～12：30		
対象・定員	小学校 新5～6年生・各会場先着30名（保護者見学可） ※申込み状況は当行HPでご確認いただけます。		
申込み締切日	3/25（水）		
プログラム	グループで「愛媛の特色を生かした会社」を作って発表します。 ①開講式 ②名刺を使って自己紹介しよう ③会社について学ぼう ④愛媛の特色を生かした会社を作って発表しよう ⑤閉講式、記念撮影		
持ち物	筆記用具、電卓 坊っちゃん劇場 役者と一緒に ゲームにも挑戦！ 参加費無料！ ※座席・グループ分けは当日クジ引きで行います。		

お申込み方法

伊予銀行HP「いよぎん金融教育教室」にある申込みフォームから必要事項を入力してお申込み下さい。

いよぎん金融教育教室

検索

「春のキッズセミナー」
参加者募集中！！

※申込み締切日日前でも定員に達し次第、締め切らせていただきます。

伊予銀行HP「いよぎんキッズ」内の「いよぎんキッズからのお知らせ」に過去のセミナーのようすを掲載しております。

【HPアドレス】 <http://www.iyobank.co.jp/kids/news/index.htm>

【電話番号】 (089) 941-1141 [平日9：00～17：30まで]

問合せ先 伊予銀行 広報CSR室 金融教育担当 宮内・日野まで。



「いよぎんキッズからのお知らせ」



昨年夏のセミナーのようす



- ①申込者の個人情報は、当セミナーに関する事務以外に使用することはありません。
- ②セミナーの様子を撮影し、当行ならびに坊っちゃん劇場のHP、冊子などに掲載する場合があります。また、当日はマスコミ等の取材が入る場合があります。ご了承下さい。
- ③伊予銀行は、愛媛県教育委員会と「えひめ家庭教育サポート企業連携事業協定」を締結しております。

銀行名	伊予銀行
タイトル	文化・スポーツ活動への取組み
取組み内容	地域文化の発展と向上のお役に立ちたいとの思いから、平成４年より「伊予銀行地域文化活動助成制度」の活動を始め、愛媛県内で伝統性のある草の根的な文化活動を継続している団体等に活動資金の一部を助成している。 また、地域のスポーツ振興に貢献したいとの思いから、昭和６０年に女子ソフトボール部、平成元年にテニス部を創部して活動を続け、スポーツを通じた地域活性化に取り組んでいる。 ●「伊予銀行文化活動助成制度」の活動としては、年度で２回、愛媛県内で文化活動を継承している団体からの助成金申請を受け、有識者から成る「伊予銀行文化振興顧問団」の意見を参考に審議して助成金を交付している。 例年４月と１０月に助成先を決定しており、２６年度は合計で３９先、７,２００千円の助成金を交付した。（これまでの累計は９９６先、１８９,０４０千円） ●女子ソフトボール部は、日本リーグ１部で活動して地域のスポーツ振興に貢献するとともに、ジュニア選手を対象とした「ジュニアソフトボール教室」を冬季に開催して地域の選手育成にも取り組んでいる。 ●テニス部は、日本リーグで活動して地域のスポーツ振興に貢献するとともに、ジュニア選手を対象とした「いよぎんテニスみらい塾」を毎週開催して地域の選手育成にも取り組んでいる。 ●平成２６年からサッカーＪ２所属の「愛媛ＦＣ」のユニフォーム（背中）スポンサーを務めるとともに、「愛媛ＦＣ」Ｊ１昇格サポート協議会の会長を大塚頭取が務めるなど、サッカーを通じた地域活性化に取り組んでいる。

銀行名	四国銀行
タイトル	エコノミクス甲子園高知大会
取組み内容	【動機（経緯）】 クイズを通じて金融経済の知識の重要性を高校生に知ってもらうために、NPO 法人金融知力普及協会と共催で「第8回エコノミクス甲子園」の地方大会として、エコノミクス甲子園高知大会を初めて開催した。 【取組み内容】 金融経済教育の取組みの一環として実施。県内の高校に生徒の参加を要請し、6組12名が参加して、第2回目の高知大会を開催。 ・筆記試験（50問） ・早押しクイズ ・決勝ラウンド（賞金山分けクイズ） 【取組みの効果】 クイズ形式で気軽に金融経済の知識に触れ、楽しみながら金融知力を身に付けてもらうことができた。

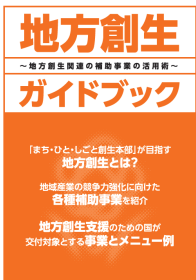
銀行名	四国銀行
タイトル	<四銀>夏休み子ども教室「お金のセミナー」
取組み内容	【動機（経緯）】 「お金」の大切さや「お小遣い」の使い方等を学習するとともに、銀行の仕事を一部体験してもらい、「お金と銀行」に関する基本的な知識を身に付ける機会を提供することで、将来の地域社会を担う人材の育成を図るため実施した。 【取組み内容】 小学生を対象に、夏休みの1日を利用して、「お金」の大切さについての講演を行うと共に、銀行の仕事などの体験学習を実施した。 ・講演：「大切なお金とお小遣いの話」 ・体験学習：「ビジネスマナー」 「模擬紙幣による札勘練習」 「銀行窓口の機械操作体験」 「本店のロビーやATMコーナー見学」など 【取組みの効果】 札勘定やテラズマシンの体験により、楽しく銀行業務を学んでもらうことができた。 平成19年から開催し、今回で8回目となり、地元で恒例のイベントになっている。

銀行名	四国銀行
タイトル	< 四銀 > 夏休み子ども教室「科学教室」
取組み内容	【動機（経緯）】 小学生を対象に夏休みを利用して、「科学教室」を開催している。これは、小学生の頃から理科や科学の楽しさに触れ、興味を持ってもらう事で、高知県の「ものづくり」を担う人材の育成を図るために実施しているもの。 【取組み内容】 26年度は「世界にひとつだけの AM ラジオを作ろう」と題し、全員がオリジナルのラジオを作るセミナーを開催。 （１）講師：大阪市日本橋少年少女発明クラブ指導員 吉谷達嗣 氏 （２）内容：「世界にひとつだけの AM ラジオを作ろう！」 【取組みの効果】 オリジナルラジオを作製することで、ものづくりの楽しさを体験してもらった。制作した作品が夏休みの宿題にも利用できることから、人気のイベントになっている。

銀行名	四国銀行
タイトル	環境保全への取り組み
取り組み内容	【動機（経緯）】 環境問題への取り組みを重要な経営課題と位置付け、本店及び本店別館においてISO14001の認証を取得のうえ、省エネ・省資源、森林保全活動や環境関連商品の開発など積極的に環境保全活動に取り組んでいる。 【取り組み内容】 <「協働の森事業」への参加> 高知県、高知市と「協働の森事業」パートナーズ協定を締結。高知市鏡柿ノ又の市有林を「未来を鏡に～四銀絆の森」と名付け、行員、家族が高知市の職員の方々が結成したNPO「こうち森林救援隊」と協働で間伐ボランティア活動を行っている。 <「四銀絆の森」交流会> 「四銀絆の森」に毎年小学生や保護者を招待し交流会を開催している。交流会では植樹、間伐見学、木工教室などを実施し、森林の大切さを学んでもらっている。 <里山保全活動> 森林保全活動の一環として、里山および周辺の整備や清掃をNPOと協働で行っている。 平成25年度に植栽した桜の木の手入れや下草刈りを行った。 【取り組みの効果】 行政、NPO法人、ボランティア団体の活動と連携を図りながら、広がりのある森づくり活動を行っている。

銀行名	福岡銀行
タイトル	「空き家解体ローン」の取組開始
取組み内容	【動機（背景）】 ・ 北九州市から、「空き家」問題への対応について相談を受け、本ローンの取扱を開始した。 【取組み内容】 ・ お申込みいただける方は、次の全てを満たす個人のお客さま 借入時年齢が満20歳以上で、完済時年齢が満81歳未満の方 収入がある方（アルバイト・パート・年金受給者の方もお申込みいただけます。） 保証会社の保証が受けられる方 ・ お使いみち：ご本人または3親等以内のご家族が所有・共有する空き家の解体費用（ただし、事業性資金は除きます。） ・ ご融資金額：10万円以上300万円以下（1万円単位） ・ ご融資期間：6ヶ月以上7年以内（6ヶ月単位） ・ 融資利率＜変動金利＞ 【一般口】 年2.9%（当行所定の短期プライムレート＋0.925%） 【補助金口】 年2.6%（当行所定の短期プライムレート＋0.625%） 銀行と提携した自治体からの補助金受給者のみ適用可 ・ ご返済方法：元利均等毎月返済 ・ 保証会社：株式会社セディナ 【取組みの効果】 ・ 現在、社会問題化している「空き家」問題に対し、地方創生の取組の一環として本ローンの取扱を開始し、各自治体の空き家対策事業の推進をサポートする。

銀行名	福岡銀行												
タイトル	C S R への取り組み												
取り組み内容	【取り組み内容】 1．環境共生活動 平成 21 年に当行グループ共通の環境方針を策定し、環境問題に対して、自らの環境負荷の抑制・軽減に努めるとともに、「金融」が持つ役割・機能を通じて、環境保全につながる商品やサービスを積極的に提供しています。 <table border="1"> <tr> <td>環境格付融資 FFG エコ・ローン</td><td>環境に配慮した経営を行う企業の取り組みを当行グループ独自の「環境格付」で評点化し、得点に応じて金利優遇を行う融資商品 FFG「エコ・ローン」をグループ 3 行で展開しています。</td></tr> <tr> <td>エコ活動</td><td>当行グループ独自の節電プログラムの展開や、身近な取り組みとして、室内空調の適切な温度設定や離席時のパソコン電源オフの励行、各部店単位でのエネルギー管理などを実践し、電力使用量の削減に努めています。</td></tr> </table> 2．生涯学習支援 金融についての正しい知識を身につけ、合理的な判断をしていただけるよう、各種金融教育支援活動を展開しています。また、さまざまなイベントを通じて、地域の文化芸術・スポーツ活動を応援しています。 <table border="1"> <tr> <td>金融教育支援</td><td>新たな取り組みとして、女性を対象とした「女性の起業支援セミナー」、「ママ・女性のための保険セミナー」を実施したほか、ジョブシャドウやインターンシップなどの地域の子供・学生向けプログラムも継続しています。</td></tr> <tr> <td>地域スポーツ支援活動</td><td>「少年少女テニス大会」の開催や地元開催マラソンへのボランティア参加などに取り組んでいます。</td></tr> </table> 3．地域貢献活動 ふくおかフィナンシャルグループ文化芸術財団では、幅広い教育・文化活動を展開しています。 <table border="1"> <tr> <td>FFG 文化芸術財団</td><td>定期コンサートなどのイベント開催に加えて、FFG ホール（福岡銀行本店地下ホール）の利用促進など、広く地域社会の皆さまの文化水準向上に貢献することを目指しています。</td></tr> <tr> <td>ふるさと振興基金</td><td>新たな取り組みとして、優れた町おこし活動、県産品の開発、学校教育活動、学術研究活動などに対して、助成金を贈呈する公益事業を展開しています。</td></tr> </table>	環境格付融資 FFG エコ・ローン	環境に配慮した経営を行う企業の取り組みを当行グループ独自の「環境格付」で評点化し、得点に応じて金利優遇を行う融資商品 FFG「エコ・ローン」をグループ 3 行で展開しています。	エコ活動	当行グループ独自の節電プログラムの展開や、身近な取り組みとして、室内空調の適切な温度設定や離席時のパソコン電源オフの励行、各部店単位でのエネルギー管理などを実践し、電力使用量の削減に努めています。	金融教育支援	新たな取り組みとして、女性を対象とした「女性の起業支援セミナー」、「ママ・女性のための保険セミナー」を実施したほか、ジョブシャドウやインターンシップなどの地域の子供・学生向けプログラムも継続しています。	地域スポーツ支援活動	「少年少女テニス大会」の開催や地元開催マラソンへのボランティア参加などに取り組んでいます。	FFG 文化芸術財団	定期コンサートなどのイベント開催に加えて、FFG ホール（福岡銀行本店地下ホール）の利用促進など、広く地域社会の皆さまの文化水準向上に貢献することを目指しています。	ふるさと振興基金	新たな取り組みとして、優れた町おこし活動、県産品の開発、学校教育活動、学術研究活動などに対して、助成金を贈呈する公益事業を展開しています。
環境格付融資 FFG エコ・ローン	環境に配慮した経営を行う企業の取り組みを当行グループ独自の「環境格付」で評点化し、得点に応じて金利優遇を行う融資商品 FFG「エコ・ローン」をグループ 3 行で展開しています。												
エコ活動	当行グループ独自の節電プログラムの展開や、身近な取り組みとして、室内空調の適切な温度設定や離席時のパソコン電源オフの励行、各部店単位でのエネルギー管理などを実践し、電力使用量の削減に努めています。												
金融教育支援	新たな取り組みとして、女性を対象とした「女性の起業支援セミナー」、「ママ・女性のための保険セミナー」を実施したほか、ジョブシャドウやインターンシップなどの地域の子供・学生向けプログラムも継続しています。												
地域スポーツ支援活動	「少年少女テニス大会」の開催や地元開催マラソンへのボランティア参加などに取り組んでいます。												
FFG 文化芸術財団	定期コンサートなどのイベント開催に加えて、FFG ホール（福岡銀行本店地下ホール）の利用促進など、広く地域社会の皆さまの文化水準向上に貢献することを目指しています。												
ふるさと振興基金	新たな取り組みとして、優れた町おこし活動、県産品の開発、学校教育活動、学術研究活動などに対して、助成金を贈呈する公益事業を展開しています。												

銀行名	西日本シティ銀行
タイトル	地方創生への取り組み
取り組み内容	【動機（経緯）】 ・ 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を受けて、地方自治体では「地方版総合戦略」の策定及びその推進が求められている。そのサポートも含めて、今後、積極的に地方創生に取り組む観点から、今般「地方創生プロジェクトチーム(事務局：地域振興部)」を設置し、その態勢を強化した。 ・ 当行が持つ「広域ネットワーク」と「中央やアジアとの強力なパイプ」を活かし、地方創生に資する情報等は当該プロジェクトチームで一元的に集約され、各地区本部と営業店を通じて地元福岡・九州の各自治体にフィードバックする態勢とした。 【取り組み内容】 ・ お客さまに地方創生にかかる補助事業等をわかりやすくお伝えする観点から、平成 27 年 3 月 20 日、「地方創生ガイドブック」を発刊した。 ・ 空き家問題解決に向けた取り組みの一環として、平成 27 年 5 月 27 日、空き家の解体費用に対応するローン商品「NCB 空き家解体ローン」の取扱いを開始した。 ・ 地方創生への取り組みを更に強化するために、平成 27 年 6 月 11 日、地元企業の雇用増加や新規事業展開等を支援する融資商品「NCB 地域創生応援ローン」を創設した。 ・ 福津市（本店所在地の近隣の市）と連携し地方創生にかかる新たな戦略を策定・推進するため、平成 27 年 6 月 15 日、同市と「地方創生に関する包括協定」を締結した。    

銀行名	西日本シティ銀行								
タイトル	「アジア金融・経済フォーラム in FUKUOKA」の開催								
取組み内容	【動機（経緯）】 ・ アジアの最新情報と九州とアジアの結びつきをさまざまな視点から登壇者に語っていただき、グローバルな経済成長を牽引するアジアの金融・経済の最先端の情報と、新たなビジネスへのヒントを幅広く地域の皆さまにお届けすることを目的に開催した。 【取組み内容】 ・ 国際金融・経済の第一線に携わってこられた国内外のキーパーソンをお招きし、「アジア金融・経済フォーラム in FUKUOKA」を開催した。 ・ 第一部では、アジア開発銀行総裁の中尾武彦氏に「アジア経済の現状と開発の課題」と題して、講演していただいた。 ・ 第二部では、韓国経済研究院長の権泰信（クォン・テシン）氏、そして元タイ王国財務・商業大臣のタノン・ビダヤ氏にそれぞれ講演していただいた。 ・ 第三部のパネルディスカッションでは、講演者と国際金融情報センター理事長の加藤隆俊氏が「グローバルなアジア市場における日本・九州の役割」などをテーマに討議を繰り広げた。 <フォーラムの概要> <table border="1"> <tr> <td>第一部 基調講演</td><td>「アジア経済の現状と開発の課題」 Asian Economic Situation and Development Agenda 中尾 武彦 氏（アジア開発銀行総裁）</td></tr> <tr> <td>第二部 講演1 （同時通訳）</td><td>「韓国経済の現状と今後の見通し、そしてアジアにおける役割について」 The Present and Prospect of Korean Economy and Its Role in the Asia 権 泰信 氏（韓国経済研究院長）</td></tr> <tr> <td>第二部 講演2 （同時通訳）</td><td>「アジアの金融情勢とアセアン経済共同体の将来」 Asian Finance and the Future of AEC タノン・ビダヤ 氏（元タイ王国財務・商業大臣）</td></tr> <tr> <td>第三部 パネルディスカッション （同時通訳）</td><td>「グローバルなアジア市場における日本・九州の役割」 Role of Kyushu, Japan in the Global Asian Market パネリスト 加藤 隆俊 氏（公益財団法人国際金融情報センター理事長） 中尾 武彦 氏（アジア開発銀行総裁） 権 泰信 氏（韓国経済研究院長） タノン・ビダヤ 氏（元タイ王国財務・商業大臣） モデレーター 久保田 勇夫（西日本シティ銀行取締役会長）</td></tr> </table>   【取組みの成果】 ・ 当日は約 500 名が参加され、アジアの金融・経済における最先端の情報を幅広く地域の皆さまに還元することが出来た。	第一部 基調講演	「アジア経済の現状と開発の課題」 Asian Economic Situation and Development Agenda 中尾 武彦 氏（アジア開発銀行総裁）	第二部 講演1 （同時通訳）	「韓国経済の現状と今後の見通し、そしてアジアにおける役割について」 The Present and Prospect of Korean Economy and Its Role in the Asia 権 泰信 氏（韓国経済研究院長）	第二部 講演2 （同時通訳）	「アジアの金融情勢とアセアン経済共同体の将来」 Asian Finance and the Future of AEC タノン・ビダヤ 氏（元タイ王国財務・商業大臣）	第三部 パネルディスカッション （同時通訳）	「グローバルなアジア市場における日本・九州の役割」 Role of Kyushu, Japan in the Global Asian Market パネリスト 加藤 隆俊 氏（公益財団法人国際金融情報センター理事長） 中尾 武彦 氏（アジア開発銀行総裁） 権 泰信 氏（韓国経済研究院長） タノン・ビダヤ 氏（元タイ王国財務・商業大臣） モデレーター 久保田 勇夫（西日本シティ銀行取締役会長）
第一部 基調講演	「アジア経済の現状と開発の課題」 Asian Economic Situation and Development Agenda 中尾 武彦 氏（アジア開発銀行総裁）								
第二部 講演1 （同時通訳）	「韓国経済の現状と今後の見通し、そしてアジアにおける役割について」 The Present and Prospect of Korean Economy and Its Role in the Asia 権 泰信 氏（韓国経済研究院長）								
第二部 講演2 （同時通訳）	「アジアの金融情勢とアセアン経済共同体の将来」 Asian Finance and the Future of AEC タノン・ビダヤ 氏（元タイ王国財務・商業大臣）								
第三部 パネルディスカッション （同時通訳）	「グローバルなアジア市場における日本・九州の役割」 Role of Kyushu, Japan in the Global Asian Market パネリスト 加藤 隆俊 氏（公益財団法人国際金融情報センター理事長） 中尾 武彦 氏（アジア開発銀行総裁） 権 泰信 氏（韓国経済研究院長） タノン・ビダヤ 氏（元タイ王国財務・商業大臣） モデレーター 久保田 勇夫（西日本シティ銀行取締役会長）								

銀行名	西日本シティ銀行				
タイトル	女性フォーラム「女性が輝く明日のために」の開催				
取組み内容	【動機（経緯）】 ・ 現在、我が国では、総理主導のもと、“すべての女性が輝く社会”の実現に向けたさまざまな取組みが行われ、女性の活躍推進は社会にとって重要な課題となっている。そこで、女性が社会と関わることの大切さや飛躍のきっかけとなるヒントを考えていただくために、国連の国際女性デーに合わせ、平成 27 年 3 月 8 日に女性フォーラム「女性が輝く明日のために」を開催した。 【取組み内容】 ・ 第 1 部の基調講演では、海老井悦子福岡県副知事が男女共同参画社会の実現に向けての行政の取組みについて幅広く紹介していただいた。 ・ 第 2 部のパネルディスカッションでは、福岡にゆかりがあり、さまざまな分野で活躍する女性 8 人をお迎えし、仕事への向き合い方、結婚、育児などについて語っていただいた。 <フォーラムの概要> <table border="1"> <tr> <td>第 1 部 基調講演</td><td>「女性活躍 ～次なるステージへ～」 海老井 悦子 氏（福岡県副知事）</td></tr> <tr> <td>第 2 部 パネルディスカッション</td><td> 「女性が輝く明日のために」 ～いま、伝えたいこと、贈りたいことば～ パネリスト（50 音順） 青木 麗子 氏（株式会社 DLC・GB コンサルティング 代表取締役） 加藤 暁子 氏（日本の次世代リーダー養成塾 理事・事務局長） 柴崎 博子 氏（東京海上日動火災保険株式会社 執行役員 福岡中央支店長） 高山 博子 氏（太宰府天満宮 神職） 西川 ともゑ 氏（福岡商工会議所 副会頭・女性会会長） 松岡 恭子 氏（建築家、株式会社スピングラス・アーキテクト 代表） 森口 博子 氏（歌手・タレント） コーディネーター 神田 紅 氏（講師） </td></tr> </table> （平成 27 年 3 月 8 日当時）   【取組みの成果】 当日は約 400 名が参加され、参加された 8～9 割の方から大変参考になったと評価を得た。	第 1 部 基調講演	「女性活躍 ～次なるステージへ～」 海老井 悦子 氏（福岡県副知事）	第 2 部 パネルディスカッション	「女性が輝く明日のために」 ～いま、伝えたいこと、贈りたいことば～ パネリスト（50 音順） 青木 麗子 氏（株式会社 DLC・GB コンサルティング 代表取締役） 加藤 暁子 氏（日本の次世代リーダー養成塾 理事・事務局長） 柴崎 博子 氏（東京海上日動火災保険株式会社 執行役員 福岡中央支店長） 高山 博子 氏（太宰府天満宮 神職） 西川 ともゑ 氏（福岡商工会議所 副会頭・女性会会長） 松岡 恭子 氏（建築家、株式会社スピングラス・アーキテクト 代表） 森口 博子 氏（歌手・タレント） コーディネーター 神田 紅 氏（講師）
第 1 部 基調講演	「女性活躍 ～次なるステージへ～」 海老井 悦子 氏（福岡県副知事）				
第 2 部 パネルディスカッション	「女性が輝く明日のために」 ～いま、伝えたいこと、贈りたいことば～ パネリスト（50 音順） 青木 麗子 氏（株式会社 DLC・GB コンサルティング 代表取締役） 加藤 暁子 氏（日本の次世代リーダー養成塾 理事・事務局長） 柴崎 博子 氏（東京海上日動火災保険株式会社 執行役員 福岡中央支店長） 高山 博子 氏（太宰府天満宮 神職） 西川 ともゑ 氏（福岡商工会議所 副会頭・女性会会長） 松岡 恭子 氏（建築家、株式会社スピングラス・アーキテクト 代表） 森口 博子 氏（歌手・タレント） コーディネーター 神田 紅 氏（講師）				

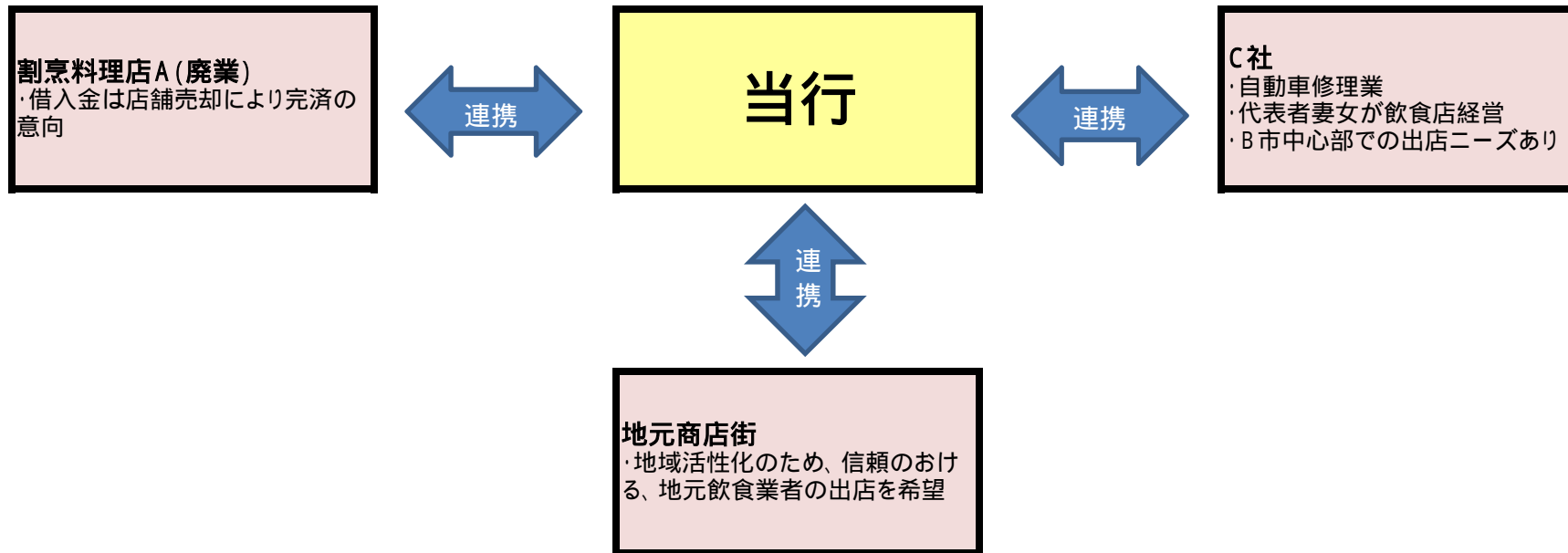
銀行名	西日本シティ銀行
タイトル	音楽祭「歓喜と喝采～音楽がつなぐ感動」の開催
取組み内容	【動機（経緯）】 ・ 創立 10 周年を記念し、当行を支えていただいているお客さまとともに音楽芸術を通じて、地域を一層盛り上げることを目的として、平成 26 年 12 月 10 日に開催した。 【取組み内容】 ・ 世界で活躍する地元出身の広渡勲氏に総監督を井崎正浩氏に指揮を務めていただいた。また、演奏は九州交響楽団、合唱は行員・市民で結成した 183 名の混声合唱団、その他、バレリーナやダンサー等の共演により開催した。 ・ 第 1 部では、「歓喜のステージ」として、九州交響楽団の演奏で、行員と市民による混声合唱団 183 名がベートーベンの交響曲第九番を合唱した。 ・ 第 2 部では、バレエやダンスなどで構成された「喝采のステージ」として、講師の神田紅氏の司会のもと、九州交響楽団の演奏に合わせ、バレリーナやダンサー、子どもたちによる、年末にふさわしいさまざまなパフォーマンスを行った。 【取組みの成果】 ・ 合唱団員の一般募集定員（100 名）を大幅に超える応募（209 名）があり、鑑賞者公募も 400 名に対し 2,076 名の応募があった。 ・ 市民合唱団としてはレベルの高い合唱団が結成され、十分披露できる合唱演奏となったなど指導者や指揮者から評価を得た。 ・ 構成や演出等に様々な工夫を取り込んだことで、質の高い音楽祭となったなど指導者、オーケストラ首脳、ソリスト等から評価を得た。 

銀行名	北九州銀行
タイトル	社会貢献への取組み
取組み内容	1．各種CSR活動の推進 (1) 青少年育成支援 ○第4回北九州銀行杯小中学生イングリッシュコンテストの開催 北九州から国際社会で活躍する人材の育成を積極的に支援することを主旨として開催し、北九州市のほか福岡市や熊本市などから約200名超の小中学生が参加した。 ○ひまわりBIGリコンテストの実施 ひまわり(北九州市の市花)の育成を通じて緑の普及・啓発を図り、郷土愛を育むことを主旨として、北九州市と協力して開催した。当行においては、熱心な取組みが見られた学校に、特別賞として2校にテントを贈呈した。 (2) スポーツ振興支援活動 ○ギラヴァンツ北九州オフィシャルスポンサー ギラヴァンツ北九州(サッカーJ2リーグ)の2014シーズンオフィシャルスポンサーとして、地域の活性化を支援した。(2015シーズンもスポンサーを継続) また、当行主催試合を開催するとともに、北九州市教育委員会を通じて、地元北九州市内の小中学生80名を招待した。 この他、期間限定でギラヴァンツ北九州応援定期預金を取扱するとともに、売上金の一部がギラヴァンツ北九州の支援金となる飲料自動販売機(通称:ギラベンダー)を北九州エリア各本支店13店舗に設置している。 ○北九州マラソン協力 北九州市の一大イベントである「北九州マラソン」に、約100名の行員がボランティアスタッフとして参加。 2．環境問題への取組みの推進 節電・CO²削減の取組として、クールビズ・ウォームビズ、毎月1回の一斉消灯日・ノーマイカーデーなどを継続実施。また、北九州市より当行の環境問題への取組が評価され、平成26年5月26日に「グリーンフロンティア表彰」を受賞した。 3．積極的な情報発信について 当行のCSR活動について、ニュースリリース、ディスクロージャー誌やホームページへの掲載など、積極的な情報発信に努めた。 以 上

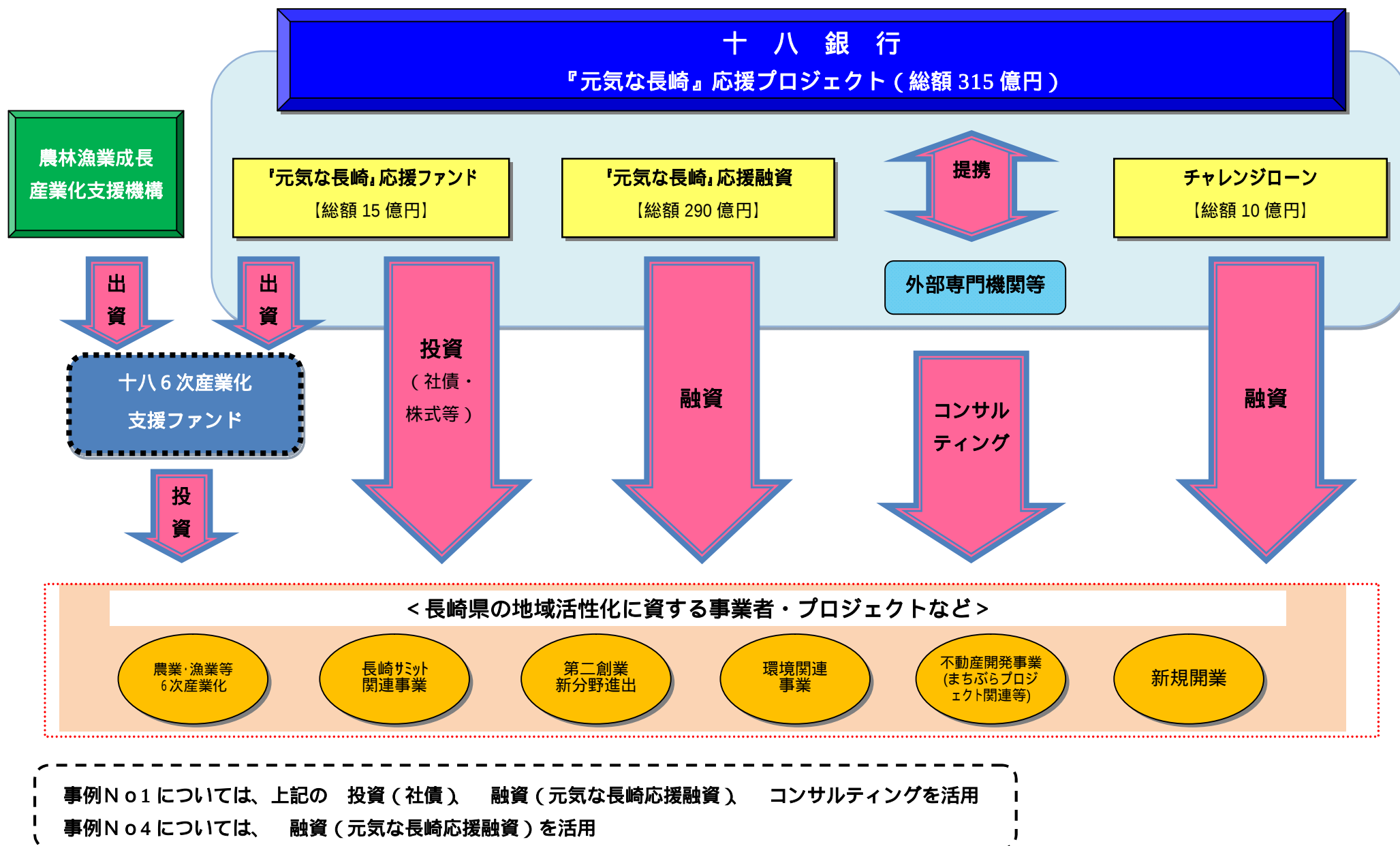
銀行名	佐賀銀行
タイトル	地域密着型金融の取組み推進 ～ お取引先現場での実地研修等による行員の目利き力養成～
取組み内容	当行は、コンサルティング機能の発揮を目的として、行員向けに定期的にお取引先の協力を得て事業現場における実地研修等を行っています。 そのひとつとして、お取引先の工場等の事業現場を見学させていただく行員向け休日セミナーを継続して取組んでいます。このセミナーでは、財務資料等のみを以って企業を理解するのではなく、実際の現場を拝見する中で見えてくる様々な工夫点や技術力などを踏まえた将来性にも目を向けることで、行員の目利き能力向上を目的としています。 このセミナーは平成 23 年 1 月より開始以降半年ごとに実施しており、現在では 10 回（10 社様）の開催に及んでいます。1 回あたりの参加人数は 30～40 名程度と限定的にはなりますが、日頃接していない製造部門等の企業担当者から説明を受けることなどを通して、お取引先に対する理解を深める機会となっています。 また、お取引先の協力の下で、「企業コンサルティング研修」を毎年 1 回の頻度で実施しています。この研修では行員が対象企業の経営状況や経営環境等を様々に調査・分析することで、企業実態を把握する力や経営課題に対する解決策の提案能力の向上を養成しています。具体的には、期間を 5 ヶ月程度設けて、対象先企業の店舗等現場の視察、顧客動線調査、顧客アンケート調査、市場環境調査、従業員意識調査、組織運営態勢並びに財務状況等を行員がチームとして実施し、最終的に企業診断報告書の形式でお取引先へ提案するという実技形式の研修としています。この研修は、昭和 56 年度から平成 27 年度まで累計 34 回を重ね、当行では歴史ある研修のひとつとなっております。 以上のような研修については、お取引先の事業性を適切に評価できる人材育成のために今後も継続していく予定です。

銀行名	十八銀行
タイトル	行内 B to B による商店街の活性化への取り組み
取り組み内容	【動機（経緯）】 ・割烹料理店 A は B 市中心部の商店街にある格式高い料理店であった。平成 25 年 9 月に代表者が死去したため、その妻女が事業を引き継ぐが、料理人としての経験がなく、経営能力に乏しかったことから間もなく廃業した。妻女は店舗の売却により借入金を完済したい意向であった。 当行は不動産業者を通じ店舗売却を進めていたが、商店街からは、「一日も早く代わりの事業者（店舗購入希望者）をみつけてほしい」との声がある一方、「品位を落とさないよう、地元の優良先で、同じ飲食業をやってもらえる方を探してほしい」など、高いレベルでの要望であったため、その条件を満たす対象先がみつからないまま半年が経過していた。 【取り組み内容】 ・状況を打開するため、行内で情報を共有し、上記条件を満たす取引先をリストアップ。その中で、同じ B 市内で自動車修理業を営む C 社が興味を示した。 C 社代表者の妻女が個人名義で既に飲食店 1 店舗を経営しており、観光客を中心に業況順調に推移していた。市内中心部への 2 店舗目出店ニーズもあったため、店舗購入・出店を打診したものの、 ・当行は C 社とともに事業計画を策定し、B 市の地域活性化に資する補助金を申請。 ・また「『元気な長崎』応援融資」を活用した、土地・建物（店舗）購入資金を融資し、飲食店の新規オープンに至った。 「『元気な長崎』応援融資」・・・長崎県の地域活性化支援を目的として立ち上げた「十八銀行『元気な長崎』応援プロジェクト」において、地域活性化に資する新たな資金ニーズに対応するもの。 【取り組みの効果】 ・C 社は B 市中心部への出店ができ、また居抜きでの出店であったため、初期投資が抑えられた。 ・また「シャッター通り化」が進んでいた商店街にとっても、要望通り、地元の優良先が品位を保ちつつ、飲食店を新規オープンすることができたため、従前の活気を取り戻すことができた。

【行内B to Bによる商店街の活性化への取組み(項番N04)】



「十八銀行『元気な長崎』応援プロジェクト」概要



銀行名	十八銀行
タイトル	「明治日本の産業革命遺産」構成資産の清掃活動実施について
取組み内容	当行は「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」と「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の世界遺産登録に向けた応援活動を積極的に行っております。 その応援活動の一環として、「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である端島（軍艦島）のボランティア清掃活動と同じく構成資産である「小菅修船場跡」の清掃活動を実施いたしました。 ○端島（軍艦島） 実施時期：平成 26 年 5 月 参加者：当行従業員及びその家族 参加者数：100 名 ○小菅修船場跡 実施時期：平成 27 年 4 月 参加者：平成 27 年度新入行員 参加者数：92 名 

銀行名	十八銀行
タイトル	「長崎がんばらんば国体 2014」「長崎がんばらんば大会 2014」におけるボランティア活動の実施について
取組み内容	平成 26 年 10 月から 11 月にかけて行われた「長崎がんばらんば国体 2014」ならびに「長崎がんばらんば大会 2014」において、当行から延べ 1,500 名の行員がボランティアとして参加しました。 開会式、閉会式はもちろん、各競技会場における受付・会場案内など「笑顔」と「おもてなしの心」を絶やさずに、来場者の皆さんをお出迎えしました。 

銀行名	親和銀行																																						
タイトル	親和銀行運動部による各種スポーツ教室の開催																																						
取組み内容	【動機（経緯）】 ふくおかフィナンシャルグループ及び当行では、CSR活動において「環境共生活動」「生涯学習支援」「ユニバーサルアクション」の3つの活動層を重点分野として設定しており、本件は「生涯学習支援」メニューの1つ「スポーツ振興」に資する取組みとして、当行運動部によるスポーツ教室を開催した。 【取組内容】 □テニス部 <table border="1"> <tr> <td>企 画 名</td><td colspan="3">親和銀行テニス教室</td></tr> <tr> <td>対 象 者</td><td colspan="3">佐世保市内小学生～シニア層</td></tr> <tr> <td>実 施 日</td><td>H26.12.13</td><td>参 加 者</td><td>約80名</td></tr> </table> 上記の他、長崎県内各所で随時実施。 □野球部 <table border="1"> <tr> <td>企 画 名</td><td colspan="3">親和銀行少年野球教室</td></tr> <tr> <td>対 象 者</td><td colspan="3">長崎市近郊の中学生</td></tr> <tr> <td>実 施 日</td><td>H27.1.24</td><td>参 加 者</td><td>約80名</td></tr> </table> □ソフトテニス教室 <table border="1"> <tr> <td>企 画 名</td><td colspan="3">親和銀行ソフトテニス教室</td></tr> <tr> <td>対 象 者</td><td colspan="3">佐世保市内中学生</td></tr> <tr> <td>実 施 日</td><td>H27.2.28</td><td>参 加 者</td><td>約80名</td></tr> </table> 【効果】 昨年行われた「長崎がんばらんば国体」の出場選手等、全国レベルの選手からの指導や技術を熱心に学ぶ参加者や指導者の姿が見られた。次回の参加を望む声も多くあがった事に加え、「地域のスポーツレベル向上に資する取組み」という観点からも双方にとって非常に意味のある教室となった。 			企 画 名	親和銀行テニス教室			対 象 者	佐世保市内小学生～シニア層			実 施 日	H26.12.13	参 加 者	約80名	企 画 名	親和銀行少年野球教室			対 象 者	長崎市近郊の中学生			実 施 日	H27.1.24	参 加 者	約80名	企 画 名	親和銀行ソフトテニス教室			対 象 者	佐世保市内中学生			実 施 日	H27.2.28	参 加 者	約80名
企 画 名	親和銀行テニス教室																																						
対 象 者	佐世保市内小学生～シニア層																																						
実 施 日	H26.12.13	参 加 者	約80名																																				
企 画 名	親和銀行少年野球教室																																						
対 象 者	長崎市近郊の中学生																																						
実 施 日	H27.1.24	参 加 者	約80名																																				
企 画 名	親和銀行ソフトテニス教室																																						
対 象 者	佐世保市内中学生																																						
実 施 日	H27.2.28	参 加 者	約80名																																				

銀行名	肥後銀行
タイトル	地域の若手農家との連携及び、地域観光資源のPRに対する取組事例
取組み内容	【経緯】 ・ 熊本市郊外にあるD支店は、地域の若手農家が毎月開くマルシェに着目し、マルシェを起点とした地域活性化を検討。 ・ まず、D支店がマルシェの実行委員である若手農家を対象に勉強会を毎月開催。マルシェの運営方法や販路開拓等について議論を重ねた。 ・ また、マルシェを通じた地域への波及効果を狙い、D支店が仲介して若手農家と異業種との連携を行った。 ・ また、近隣には良質の温泉施設も複数あり、地域温泉の知名度向上に向けたPR方法についても検討。 【取組み内容】 ・ D支店が開催する勉強会には、商工会青年部、旅館経営者、行政職員も参加し、地域の活性化について協議。 ・ 地域の特産であるスイカが旬を迎える5月には“スイカマルシェ”を開催。D支店の行員も20名参加し、地元の観光や農産物をPRするチラシを配布。 ・ また、D支店の移転1周年記念に合わせ、来店客に地元温泉の無料入浴券を配布するキャンペーンを実施。 【成果】 ・ “地域に身近な銀行に”というD支店のコンセプトが地域に浸透し、D支店を中心に異業種が連携し地域活性化に繋がった。 ・ 現在も地域が一体となり、史跡や農園・温泉・飲食店を巡る観光ルートの構築を検討する等、地域観光資源活用についての協議を継続。

銀行名	肥後銀行
タイトル	環境保全活動の実施
取組み内容	植樹・下草刈りボランティア 【経緯】 ・平成 5 年に緑化資源保護のための「法人の森林制度」に参加。平成 13 年から財団法人肥後の水資源愛護基金（現、公益財団法人肥後の水とみどりの愛護基金）とともに植樹活動を開始。さらに、創立 80 周年記念として、平成 18 年 2 月に、阿蘇市小倉地区の森林 52ha を取得、「阿蘇大観の森」と命名。以後、水源涵養林の保全・育成に積極的に取り組んでいる。 【取組内容】 ・毎年 4 月に行員ボランティアによる植樹活動、毎年 7 月に下草刈りを実施。 ・植樹面積累計 48.6ha ・植樹本数累計 118,800 本 ・ボランティア参加人数累計 10,477 人 田植え・稲刈りボランティア 【経緯】 ・平成 23 年 2 月、地下水保全及び耕作放棄地解消を目的に、公益財団法人肥後の水とみどりの愛護基金と阿蘇市との間で「農業・水田湛水事業に関する協定」を締結。 【取組内容】 ・「阿蘇水掛の棚田」と命名した棚田において、平成 23 年以降、毎年 5 月に当行グループ役職員等による田植えを、10 月に稲刈りを実施。 ・田植え・稲刈り面積約 1.5ha ・ボランティア参加人数累計 3,150 人 草原支援 【経緯】 ・地下水保全活動の一環として、阿蘇の草原保全・再生に向けた活動を実施。 【取組内容】 ・平成 23 年、阿蘇草原再生協議会に寄付実施。 ・同年、阿蘇の草原再生への取組みの一環として、「あか牛」の飼育頭数増加のため、当行役職員有志が「あか牛オーナー制度」に参加。 ・平成 26 年「阿蘇グリーン定期預金」の取扱開始。 お預け入れ総額に応じて、運用収益の一部（616 万円）を阿蘇世界農業遺産基金に寄付。

銀行名	肥後銀行
タイトル	環境保全啓発活動
取組み内容	「わたしのまちの〇と×・熊本」環境フォトコンテストの実施 【動機】 ・平成１９年度より、環境啓発活動として官民学一体となって実行委員会を組織し開催。 【取組内容】 ・平成２７年度で９回目。第８回の応募総数は２，２５６点。県下の小中高を中心に、過去最多応募数。 DVD「水はみんなの命」制作 - 熊本の水資源愛護啓発プログラム - 【動機】 ・当行が永年取り組んでいる熊本県下の水資源の涵養・保全活動の更なる充実と、住民の「かけがえのない水への思い」の深まりと水保全の実践活動への拡がりに役立てる活動を検討。 【取組内容】 ・公益財団法人肥後の水とみどりの愛護基金が、熊本の水資源の啓蒙を図る目的でＤＶＤを制作、県下全学校向け配付。 ・くまモンバージョン、英語版を別途作成

銀行名	肥後銀行
タイトル	社会貢献活動
取組み内容	文化事業支援 【動機】 ・ 熊本の歴史・文化を守り、次世代に継承するため 【取組内容】 ・ 文化情報発信の拠点として「肥後の里山ギャラリー」を設置。開館記念「細川護熙の世界」開催来館者数約7千人（平成27年5月開館） ・ 美術展への協賛（毎年） 平成27年度は、熊本県立美術館開催「印象派のふるさと ノルマンディー展」に特別協賛。 スポーツ振興 【動機】 ・ 県内のスポーツ振興に貢献するため。 【取組内容】 ・ 平成23年、女子駅伝部創部 ・ 各種スポーツイベントへの協賛（毎年）（「都市対抗熊日駅伝」特別協賛、「熊本城マラソン」事業協賛） 地域行事への参加 【動機】 ・ 地域イベントの活性化に貢献するため 【取組内容】 ・ 熊本城マラソン清掃ボランティア約400名参加（毎年） ・ 「火の国まつり」約100名参加（毎年） 福祉活動 【取組内容】 ・ 社会福祉法人 熊本県視覚障がい者福祉協会へ点字カレンダー500部贈呈。（毎年）

銀行名	肥後銀行
タイトル	学生向け金融教育
取組み内容	【経緯】 金融情勢が変化する環境下、金融の仕組みや取引のルール等に対する国民の知識・理解を深めることの重要性が提起されている。学校に対する金融教育支援への取組みを下記の通り開催。 【取組み内容】 ・これまで金融セミナーという形で実施してきた「若年社会人、一般社会人、高齢者」の3つの年代層に加え、平成27年度から新たに学生への金融教育を積極的に展開開始。 ・対象：小学生、中学生、高校生、大学生 具体的な運用、詳細については個別応談可 ・この金融教育に係る重要なサポート役として、「コミュニケーションロボット“パルロ”」(富士ソフト)を使い、子供でもわかりやすく、且つクイズ形式などを通して楽しく学べる金融教育プログラムを作成し、随時開催中。 《プログラム例(小学生向け授業)》 パルロ自己紹介、コミュニケーション機能披露 第一部 お金に関する○×クイズと解説 (講師：パルロ 出題と解説) ご褒美タイム(パルロとしりとりあそび) 第二部 銀行のしくみとお金の使い方 (講師：当行フィナンシャルプラザスタッフ) 【成果】 《平成27年度》 ・熊本大学附属小学校4年生3クラス(5月) 計105名 ・熊本市立白川小学校5～6年生(7月) 計154名 現在県下学校より開催依頼があり、順次開催予定 = 授業風景 =  

銀行名	大分銀行
タイトル	取引先の輸入仕入先開拓をサポート
取組み内容	【動機（経緯）】 A社は造花・盛籠・盆提灯等の製造・卸売業を営んでおり、地域の葬儀社への販売においては確固たる営業基盤を構築している中小事業者。 材料部品を中国の協力企業に委託生産させ、当社で組立を行なったうえで販売しているが、近年中国の協力企業から人件費高騰を理由として値上げ圧力が強くなり対応に苦慮。当社としては、中国以外の国からの調達を模索し東南アジア各国を視察、ベトナムからの輸入を開始した。 【取組内容】 当社の意向を受け、第一に当行独自で調査し候補国を絞った上で、第二にジェトロ（日本貿易振興機構）を交えて相談を実施。最終的にベトナムをターゲットとして訪問し商談することとした。 現地視察・商談を行なうことになり、当行行員が同行。事前の商談先アレンジから現地アテンド、通訳、物流や資金決済面のアドバイスをを行い試験的に輸入を開始することにした。 サンプルを輸入したところ、当社の期待する品質であることが明確となったため、再度このベトナム企業を訪問。3種類程度の当社商品の部品を製造委託することになった。本格的に輸入を開始するにあたり、現地で資金決済方法の決定をする際にアドバイスを実施した。 【取引先にとっての効果】 ベトナム企業からの輸入は、当初2年間は順調に推移し当社商品価格の安定化に寄与。しかし、ベトナム企業の幹部が退社したことから品質が劣化。現在この企業からの輸入は停止している。 ベトナム企業との取引をしていた2年間で、当初取引していたベトナム企業からの紹介で、他のベトナム企業から造花の輸入を開始。この企業との取引は現在も順調であり、当社の商品価格安定化に寄与している。 インドネシアからの輸入も検討し、ベトナムと同様に現地視察・商談を実施。当行はベトナムと同様に現地商談アレンジから現地アテンド、通訳や決済方法のアドバイスを実施。商談後、サンプルを輸入したものの、当社の期待する品質には及ばないことが判明し輸入開始は断念。 当社は材料部品の調達先多様化を現在も行っており、今後も調達先を探していく意向で当行のサポートを期待している。

銀行名	大分銀行
タイトル	環境問題への取組み：「大分銀行の森」づくり
取組み内容	【動機（経緯）】 大分県が推進する「企業参画森林づくり」に賛同し、平成 18 年 3 月に協定を締結し、「大分銀行の森づくり」活動を開始。 第一期は、湯布院町川西で植樹活動を行い、平成 23 年 3 月に 5 年間の協定期間が満了した。その後、平成 23 年 10 月に由布市塚原を新たな植栽地として 7 年間の協定を締結し、現在に至る。 【取組み内容】 平成 23 年 10 月に由布市塚原の 1.5ha に 2,250 本植樹。以後、毎年 7 月に行員及び家族等約 50 名が参加して下草刈り作業を行っている。 【お取引先にとっての効果】 1．本件、植栽による地球温暖化対策、防災活動・保水、水質改善活動等環境活動、自然美観の保持に資するもの。 2．将来的には、植林活動を通じて大分県内の林業の産業再生や 6 次産業化など地域の持続可能性を高める効果が期待できる。 以上

銀行名	大分銀行
タイトル	文化・スポーツ活動への取組み：「べつだいウォーク」
取組み内容	【動機（経緯）】 平成 16 年に国土交通省が別大国道 3 車線化のイベントとして始めたが、平成 18 年に撤退。行事委託先の別大毎日新聞社、特別協賛者の当行、毎日放送系の別大放送の三者が実行委員会を組成し、別大毎日マラソン大会の支援イベント「べつだいウォーク」として継続している。 【取組み内容】 1．開催時期 毎年 2 月第 1 日曜日「別大毎日マラソン大会」開催当日 2．開催場所 メイン会場：別大国道田ノ浦ビーチ T-wave コース：別大国道歩道 3．企画形態 主催：べつだいウォーク実行委員会 委員長当行副頭取 その他委員会メンバーとして当行から 6 名 特別協賛：当行 4．当行行員 他当日ボランティアとして行員約 100 名参加、参加賞・完歩賞の提供、ドリンク・キャンディの無料サービス等 4．参加人数 平成 27 年第 12 回実績 2,450 名 【お取引先にとっての効果】 1．当イベントと別大毎日マラソン大会に参加する来県者の誘致。 2．県民の皆さまを中心に、参加される方々への健康増進と風光明媚な別府湾の景観を眺めながら歩くことによる大分の魅力再発見に寄与。 以上

銀行名	大分銀行
タイトル	文化・スポーツ活動への取組み：「別府アルゲリッチ音楽祭」
取組み内容	【動機（経緯）】 従来、大分県に著名な音楽祭がなかったことで、地元在住の音楽家より世界的ピアニスト「マルタ・アルゲリッチ」招聘案が当行に持ち込まれたことをきっかけとして、大分県・別府市などと連携して音楽祭開催を開始した。当行は、平成10年の第1回から継続して毎回協賛し、平成26年の第16回より特別協賛企業として支援している。 【取組み内容】 人的支援として、企画運営組織である音楽祭サポート委員会に企業として参加している。 また、本部・営業店・関連会社にボランティアスタッフを募集、「ボランティア休暇制度」を活用し参加している。 平成26年度から、営業戦略部とタイアップして「別府アルゲリッチ音楽祭特別協賛キャンペーン」を実施。投資信託の一定額ご購入者を対象に、抽選で25組50名にペアチケットを進呈した。 【お取引先にとっての効果】 1．世界中でも大分でしか聴くことのできない貴重な音楽祭として、九州以外の都府県からも多くのクラシックファンが来県している。旅行会社による「音楽祭パックツアー」なども企画されており、交流人口の増加に寄与している。 2．ホテル等を含む観光施設の利用者増加に寄与している。 以上

銀行名	鹿児島銀行
タイトル	環境問題（森林整備）への取り組み
取り組み内容	1．背景 ・地球温暖化による気候変動が農業・観光業を主要産業とする鹿児島、宮崎に与える経済的損失は計り知れないものがあることから、環境保全に向けた基本理念、基本方針を定めた「鹿児島銀行環境方針」に基づき例年、環境保護活動を実施している。 2．取り組み内容 ・鹿児島県との「かごしま環境パートナーズ協定」に基づき、平成 20 年度から継続して、鹿児島市内の県有林の間伐を実施している。 3．取り組み成果 ・間伐で整備した森林について、「かごしま CO2 吸収量等認証制度」により、森林整備による二酸化炭素吸収量の認証を受けている。 【参考：過去の CO2 吸収量】 120 t /平成 23 年度 132 t /平成 24 年度 106 t /平成 25 年度 121 t /平成 26 年度

銀行名	琉球銀行
タイトル	第 12 回 りゅうぎんキッズスクール
取組内容 <動機（経緯、きっかけ等）成果（効果）>	【動機（経緯）】 ・ 県内の小学生に対して身近な環境を考えるきっかけを提供するサイエンス教室や、ゲームで楽しみながら、自然な形で世界経済や社会の仕組みを学ぶ体験参加型ビジネスシミュレーションゲームを通じ「お金」や「銀行」、「経済」について学ぶ機会を設けることにより金融知識の向上を図り、C S R 活動の一環として地域社会に貢献することを目的として開催する。 【取組み内容】 ・ サイエンス教室 「沖縄を支える新エネルギーを考えよう」をテーマにペットボトルをもちいて風力発電に取り組む。 ・ 経済教室 「お金」や「銀行」、「経済」について学ぶ機会を設けることにより金融知識の向上や社会知識の習得を図る。 ・ 7 月 22 日～24 日の 3 日間で合計 6 コマの教室を開催し、総勢 183 名の児童が参加し楽しみながら学習を行った。 【成果】 ・ 児童及び父母からの感想 児童父母からの評価は良好で、サイエンス教室では、実験結果から風の力で電気を作る仕組みを知りとても役に立ったという意見が多かった。 経済教室は、特に父母から経済についてうまく説明できなかったが子供たちも本教室により経済を分かりやすく体験できたと思う。 児童からは、授業をうけて、将来に役立つことがわかったのでよかったと思う。